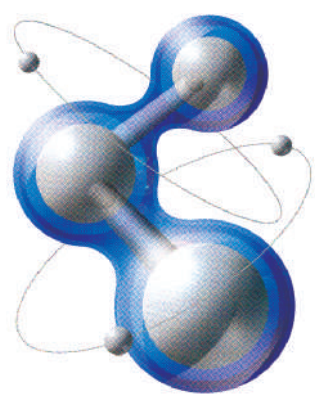


モノづくり体感スタジアム 2025



モノづくり日本会議
モノづくりへの挑戦

「今まで、子どもたちに、モノづくりのチカラを」。モノづくり日本会議と日刊工業新聞社は8月23、24の両日、モノづくり企業が科学・理科教室などを通じてモノづくりの楽しさを子どもたちに伝える「モノづくり体感スタジアム」を開いた。会場は東京都千代田区の科学技術館。モノづくり日本会議会員企業など20法人・団体が、対面型の23ワークショップを企画。モノづくりの魅力を体験してもらおうと、出展者いすれも早くから準備を整えてきた。子どもたちにとって夏休み期間ということもあり、各地から親子2000人が訪れ、会場は笑顔と歓声であふれた。

日立製作所のワークショップ。修理されて音が鳴り出したラジカセに子どもも大人も大盛り上がり。家電をなおす様子をストーリーミング配信する「なおスト」の一幕。ラジカセのほか、時間帯によっては扇風機やスマートフォンをなおす様子を配信した



モノづくり
体感スタジアム

実験と工作で新発見

会場を大いに沸かせたプログラムの一つは、ラジカセなど家電をなおす様子をストーリーミング配信する「なおスト」だ。スタッフが壊れたラジカセを手際よく分解して修理し、再びラジカセが鳴り出すと、子どもだけでなく、大人たちも笑顔で拍手喝采。両親と一緒に千葉県から訪れた小学4年生の女の子は「私もやってみたい」と目を輝かせた。リサイクル素材の名札も楽しそうにつくり、資源循環への興味を呼び起こされたようだ。

日立製作所

アップサイクル名札工房&なおスト★リペアLEEVEショー！



主要事業である金型づくりの一部を体験してもらおうと、準備したプログラムはキーホルダーづくり。皮を型抜きし、金属プレートを磨いて刻印することを通じ、同社のモノづくりの一端を感じてもらおう趣向だ。この狙いは見事に的を射たよう。両親と一緒に鳥取県から訪れた小学1年生の女の子は「磨けば磨くほどピカピカになって面白かった」と、得意そうに完成したキーホルダーを見せてくれた。モノづくりの楽しさに触れたに違いない。

富士ダイス

命を吹き込め！キーホルダー作りで金型体験！



子どもたちに小型の射出成形機を使ったプラスチック製品づくりを体験してもらった。安全を徹底するため、ゴーグルやグローブも用意し、装着した子どもたちもどこか興奮気味。「サラサラした素材がドロドロになり、それがリボンや車などいろんな形に変わって驚いた」と、神奈川県から両親、弟と一緒に訪れた小学6年生の女の子。材料になったペットボトルのキャップを見返していた。資源循環も同時に感じたようだ。同社は今回が初出展。

ユウワ

かなガッタくんの成形教室



今回が初出展となる同社のプログラムは、子どもたちが自動機で自分だけのオリジナル缶バッチを作るという内容。自ら組み立てたロボットハンドと、紙に描いたデザインをそれぞれ自動機にセット。自動機は内部が見えるようになっていて、子どもたちは自作のロボットハンドが動き、デザインが缶バッチになる様子を食い入るように見守った。家族と千葉県から訪れた小学4年生の女の子は「完成までの動きが見られて良かった」とうれしそうな表情。

ロボットハンド&缶バッチの製作

オプテックス工業

超モノづくりへの挑戦

「モノづくり日本会議」は、2007年9月に設立した「モノづくり推進会議」での活動を土台に、広域企業ネットワークや他機関との連携を活用し、日本のモノづくり産業の強化に役立つ実践的な勉強会・シンポジウムなどのイベントや交流会などの活動を展開しており、日刊工業新聞社が事務局を務めさせていただいている団体です。

少子高齢化、環境対応、資源・エネルギー問題など様々な課題を乗り越え、「超モノづくりの推進」をテーマに、事業を進めております。これまでの取り組みを発展・拡充させるとともに、IoTやAIを含めたロボット産業や「防災イノベーション」など、横断的テーマについては、より実践的な成果を目指します。

先進的な技術やノウハウを有する会員企業をはじめ、多彩な連携機関のご協力をいただき、モノづくり産業のさらなる発展を目指して事業を展開し、モノづくり産業の競争力強化につながるよう、地域間、企業間連携をおこない、ビジネスマッチングなども図っていきます。

モノづくり日本会議の事業

グローバル競争力強化関連事業

- ・モノづくり力徹底強化検討会
- ・人材育成関連事業
- ・長寿企業イノベーション勉強会
- ・ビジネスモデル価値創造研究会
- ・新モビリティ研究会
- ・企業価値革新検討会

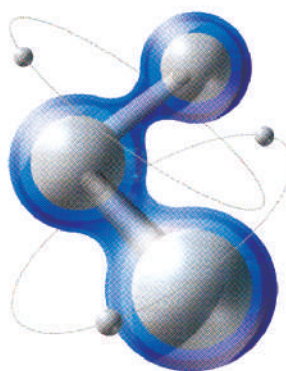
新産業・ビジネス創出／ビジネスモデル構想力向上検討事業

- ・新産業技術促進検討会
- ・ロボット研究会
- ・AI研究会

その他の事業コンテンツ

- ・顕彰事業
- ・モノづくり部品大賞
- ・モノづくり推進シンポジウム
- ・特別講演会
- ・地区別研究会
- ・交流・マッチング事業
- ・会員向け調査レポート

各事業の詳細は、モノづくり日本会議ホームページ (www.cho-monodzukuri.jp) をご覧ください。



お問い合わせ先

モノづくり日本会議

モノづくり日本会議事務局
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14番1号(日刊工業新聞社内)
Tel.03-5644-7608 Fax.03-5644-7209

